



PORSCHE

Press Release

2020年7月16日

新しいオプションが用意され、出力が大幅に向上したクーペとカブリオレ

45年間にわたるベンチマーク：新型ポルシェ 911 ターボ

ポルシェジャパン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：ミヒヤエル・キルシュ）は、「新型ポルシェ 911 ターボ」および「新型ポルシェ 911 ターボカブリオレ」の予約受注を日本全国のポルシェ正規販売店にて7月16日(木)より開始いたします。

ポルシェ 911 ターボは、過去45年間に渡って実用性を備えた高性能スポーツカーであり続けてきました。911 ターボ S に続き、よりいっそうパワフルに、速く、個性的になった新世代の 911 ターボおよび 911 ターボカブリオレがデビューします。いずれのモデルバリエーションも、先代モデルを 30kW (40PS) 上回る 427kW (580PS) を発生するエンジンにより、0-100km/h 加速タイムは 3 秒の台を切る 2.8 秒（先代モデルより 0.2 秒短縮）をマークします。今やオーバーブースト時間の制限がない 750Nm (40Nm 増) のトルクは、より自然で余裕がある全開加速をもたらします。新型 911 ターボの加速、出力、トルクは、先代の 911 ターボ S に匹敵します。パワーは、911 ターボ専用設定の 8 速 PDK トランスミッションによって伝達され、最高速度は 320km/h のまま変わりません。スポーツパッケージ、ライトウェイトデザインパッケージ、スポーツサスペンション、スポーツエグゾーストシステムなどのオプションは、911 ターボに初めて用意されます。これにより、お客様は、自分の車をよりいっそう個人的な好みに合わせることができます。

新しいスポーツカーは、1975 年にデビューしラグジュアリーとパフォーマンスの同義語となった初代 911 ターボの名誉ある地位を引き継ぎます。ポルシェ 911 ターボは、どの世代でも高性能スポーツカーの世界的なベンチマークであり続けてきました。911 ターボは、スポーツ性と実用性、感情に訴えるダイナミックさと信頼性、爽快なパフォーマンスと効率性を兼ね備えています。最新世代の 2+2 シーターは、260PS の 3 リッター水平対向 6 気筒シングルターボエンジンを搭載した初代ターボよりも 2 倍以上パワフルです。911 ターボは、長年にわたってさらに速く、大きく、快適になってきたかもしれませんが、その基本特性は常に維持しています。

新型 911 ターボの 3,745cc の水平対向 6 気筒エンジンは、増大した 580PS の出力を誇るとともに、電子制御バイパスバルブ付きシンメトリカル VTG ターボチャージャーを備えます。これは最適化されたインタークーラーシステムとピエゾインジェクターの採用と合わせて、応答性、パフォーマンス、トルク特性、および吹け上りを向上させます。シャシーとボディはさらにワイドになりました。フロントアクスルは、42mm 拡大されたフロントトレッドと新しい 20 インチ 255/35 タイヤによって、いっそう正確に操舵できるようになります。4 輪をアクティブ制御する PTM が、フロントホイールにより多くのパワーを伝達できるようになる一方で、10mm 拡大された

リアレッドとフロントより1インチ大きな21インチホイールに装着される315/30タイヤによって、アクティブ操舵されるリアアクスルのトラクションが増やされています。改良されたブレーキシステムは、よりいっそうパワフルになり、標準装備されるレッドの固定式キャリパーによって識別することができます。フロントのねずみ鋳鉄製ブレーキディスクは、直径が408mm（先代モデルより28mm増）、厚さが36mm（同2mm増）になっています。リアアクスルは、厚さ30mm、直径380mmのブレーキディスクを備えます。

スポーツエグゾーストシステムは、911ターボに初めてオプションとして用意されます。2種類のシャシーバリエーションも新たに設定されます。標準装備のPASMシャシーは、スポーツ性重視から快適性重視まで幅広く対応します。一方、より硬く、車高が10mm低くなる電子制御のPASMスポーツサスペンションは、新型911ターボへさらなる俊敏性をもたらします。PASMスポーツサスペンションは、車のダイナミクスを強化し、サーキットで使用する場合などの高速走行においてさらなる安定性をもたらします。オプションのPDCC油圧アクティブ制御ロール抑制システムと、フロントの10ピストン固定キャリパー付きPCCBセラミックブレーキシステムは、911ターボドライビングダイナミクスをさらに洗練させます。

911ターボのデザインは、よりいっそう力強いものになりました。ボディは、新しいシャシーを収めるためにフロントホイールでの車幅が45mm拡大されて1,840mmになる一方、新しいボンネットの印象的なプレスラインが、車のスポーティな性格を強調します。路面を照らすのは、標準装備のPDLS Plus付きLEDヘッドライトです。リアアクスルでのボディの幅は、ちょうど1,900mm（20mm増）になっています。これら以外に新型911ターボを際立たせる装備は、電子制御の冷却用エアフラップ、大型化されたアクティブフロントスポイラー、そして大型化された可変リアスポイラーを備える強化されたアダプティブエアロダイナミクスです。911ターボの大きな特徴であるリアサイドパネルのエアインテークは、以前の冷却用空気の代わりに処理空気を取り込むようになり、インタークーラーは、エンジンフード下のエアフローの中に直接配置されています。LEDテールライトを備える連続的なライトバーと、シルバーのトリムストリップ付きの新しいエンジンフードルーバーグリルが、車のリアのデザインを完成させます。

車の外観とパフォーマンスは、オプションのライトウェイトデザインパッケージとスポーツパッケージによってさらに研ぎ澄まされます。クーペ用のライトウェイトデザインパッケージは、車両重量を30kg軽減します。とりわけこれを可能にするのが、軽量フルバケットシートの採用、リアシートの廃止、および遮音材の削減です。遮音材が少なくなることは、ドライバーがエンジンサウンドをよりダイレクトに楽しめることも意味します。スポーツパッケージの特徴は、911ターボスポーツデザインパッケージに加え、ブラックとカーボンの追加装備、そして言うまでもなくエクスクルーシブデザインテールライトです。

モダンなインテリアの基本要素は、ポルシェアドバンストックピットとダイレクトタッチコントロールを装備した911カレラのインテリアに相当します。PCMのセンタースクリーンは10.9インチになり、その新しい構成によって素早く気を散らさずに操作できます。極めて高品質の豊富な装備リストには、14-way電動スポーツシート、スポーツクロノパッケージ、シフトパドルおよびマルチファンクション/モードスイッチ付きGTスポーツステア

リングホイール、パワフルな BOSE® サラウンドサウンドシステムなどが含まれています。さらなる個性化のために、アダプティブクルーズコントロール、レーンキープアシスト、ナイトビジョンアシスト、Burmester®ハイエンドサラウンドサウンドシステムなどを含む多数のオプションが用意されています。

日本仕様の 911 ターボおよび 911 ターボカブリオレには、サラウンドビュー付パークアシスト、コンフォートアクセス、電動格納ドアミラー、ヒートシート(フロント)など他マーケットではオプションとなる多くの装備を標準で搭載しています。

■ 新型 911 ターボ希望小売価格

2020年7月16日付

車種	トランスミッション	ハンドル	希望小売価格 (消費税込)
911 ターボ	8速 PDK	右	¥24,430,000
911 ターボカブリオレ	8速 PDK	右	¥27,310,000

<お客様からのお問い合わせ先>

ポルシェカスタマーケアセンター 0120-846-911 / HP <http://www.porsche.com/japan/>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

ポルシェジャパン PR 事務局 TEL : 03-5572-6063 / e-mail : porsche_pr@vectorinc.co.jp

ポルシェジャパンプレスサイト <https://press.jp.porsche.com>